試験実施日 年 月 日   1試験実施名   住所 氏名   1以   1以   1以   1以   1以   1以   1以   1		非常電	源(高圧	又は特	詩別高圧	で受冒	電す	る非常電	፪源 <sup>፯</sup>	専用	設係	<b>備)</b> 訪	式験糸	吉果幸	级告記	昌		
計験実施者   住所   氏名   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	試験室施口												年		月		B	
氏名					試験実施	施者				•			·					
消防設備等の別					住	所												
使用区分   共用   (   )     関電方式   W   V   Hz   容量   KVA     主 遮断装置   定格遮断電流   KVA   CE 格電圧   V     高圧 交流 負 荷 開 開 器   石 経電圧   KVA   A     変圧 器   存 量					氏	名											印	
使用区分   共用   (   )     関電方式   W   V   Hz   容量   KVA     主 遮断装置   定格遮断電流   KVA   CE 格電圧   V     高圧 交流 負 荷 開 開 器   石 経電圧   KVA   A     変圧 器   存 量	当	防設備等の別	1															
使用区分 消防用設備等のみに使用   受電方式 W V HZ 容量 KVA   主遮断装置 定格電圧	713 1		<b>土田</b>					,										
受電方式 W V Hz 容量 KVA   主 遮断 装置 定格遮断電流 KA 定格電圧 V   種別 別 定格電圧 KV   定格電圧 V/   定格電圧 V/   で格電圧 V/   型 加   加 油入乾式 その他   大(VA) 定格電圧   水(VA) 定格電電圧   水(VA) 定格電電圧   水(VA) 定格電圧   <	使	用 区 分		設備等(														
主 遮 断 装 置 種別 定格電流 A   高 圧 カットアウトスイッチ 定格電流 A   高 圧 カットアウトスイッチ 定格電圧 KVA   変 圧 器 種別 油入 乾式 その他 使用区分 専用・共用( ))   マ 圧 器 種別 油入 乾式 その他 で 格電圧 V/ V	受	 電 方 式	-					V				Z		容:	 量	 _ E		
種 別   定格電流   A			定格遮	断電流	讠			KA	定	格	電	圧					V	
高 圧 カットアウトスイッチ   定格電流   A     度 圧 カットアウトスイッチ   定格電流   A     ク 正 器   室 量   KVA 1次・2次電圧 V/ V     ク アンサ   種別 油入 乾式 その他 使用区分 専用・共用( ))     ク アンサ   種別 油入 乾式 その他     ク アンサ   種別 油入 乾式 その他     ク 別 油入 乾式 その他   関 場所     ク 別 な 防 火 区 画	主	遮断装置	種	別	J				定	格	電	流					A	
定格電流   A   KV   では格電流   A   KV   では格電流   A   KV   では格電流   A   A   では格式   A   では格電流   A   A   A   では格電   A   A   ではままままままままままままままままままままままままままままままままままま	÷		シナ	4	<del></del>	88	BE	3 9.0	定	格	電	圧					KV	
高 圧 カ ット ア ウトス イ ッチ 定格電流   A     変 圧 器   容量   KVA 1次・2次電圧 V/ V     種別 油入 乾式 その他 使用区分 専用・共用( )   分専用・共用( )     コンデンサ 種別 油入 乾式 その他   定格電圧 V     酸 項 目 種別・容量等の内容結果     財 気 設 備有効な防火区画 防水措置出水防止照明設備の有無標調 協同有無標準に対験が出来が設備であるい機器等の部分を作面面を対しなければならない機器等の部分を作面面を対した。     機器名 キューピクル式 機器等の部分を作面面を対します。   技験前をない機器名 キューピクル式 はよりない はない はない はない はない はない はない はない はない はない は	同	庄 父	流	貝	何	用	<b>7</b>	品	定	格	電	流					A	
定格電流   A	宣	E h w	7	7 h		7	1	w <b>=</b>	定	格	電	圧					KV	
変 圧 器   種 別 油入 乾式 その他 使用区分 専用・共用( )     コンデンサ 福 別 油入 乾式 その他   定格電圧 V     種 別 油入 乾式 その他   V     試 験 項 目 種 別 ・ 容 量 等 の 内 容 結果     投 気 設 備 有効 な 防 火 区 画	10)	/	<u>'</u>	, ,	' '	^	'	,	定	格	電	流					A	
種 別 油入 乾式 その他 使 用 区 分 専用・共用( )   マ 量	亦	圧 哭	容	量				KVA	1 )	欠・2	2 次電	10日			V/	V		
コンデンサ   種 別 油入 乾式 その他		<u> </u>	種	別	油入	乾式	そ	·の他	使	用	X	分	専用	・共	用(		)	
種 別 油入 乾式 その他		ンデンサ	容	量				KVA	定	格	電	圧					V	
設置場所等   設置場所等   設			1 -															
外 設置場所等 換 気 設 備   有効な防火区画 防水措置   出火防止・延焼拡大防止照明設備の有無標   照明設備の有無標   機構 ・性   様 ・性   保有距離を確保しなければならない機器等の部分作面面 点 検 面面をのの他面   機器名 キューピクル式   は、カル ・カル   ・カル ・カル   ・カル ・カル		<u>試</u>						種別	•	3	容	量	等	の		容	結果	
記置場所等   不燃専用室・機械室   一			設	<u> </u>														
設置場所等   R	外																	
観 機械室等   機械室等 出火防止・延焼拡大防止照明設備の有無標標   標 識   構 ・ 性   は 保有距離を確保しなければならない機器等の部分作面面 検   らない機器等の部分作面面 一   機器名 ・ ピクル式   キューピクル式 ・ カル式   は カル 式 ・ カル 式		** T T T T T T T T T T T T T T T T T T																
観 等 田大房正 足が加入大房正 足が加入大房正 照明設備の有無標 識 標準 講		設直場所寺   																
標 識 構 造 ・ 性 能	観																	
横 造 ・ 性 能 保有距離を確保しなければな 操 前 検 気 のの 他面 保有距離 (m) 機器名				-	日 設 1年	の有												
(m)   保有距離を確保しなければならない機器等の部分   作 面面		# 14	<u> </u>		ı <b>!</b> /∔-													
保有距離 (m) けっぱり けっぱり けっぱり けっぱり は、カル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	試	件 足				よければ		協合	<del></del>		占		I	協			- M	
保有距離								作品	 					気気		- その - の -		
映		保有距離			ν <i>π</i>		<u>_</u>	н н	4		Щ			Щ	_	16	3 ІНІ	
	験				-	JV				-			+		$\dashv$			
			_	才	 ー プ	ン	式式			$\vdash$					$\dashv$			

## 非常電源(高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備)

	試	験			項		Ħ	種	別	•	容	量	等	の	内	容	結果
		分		岐	:	方	ì	<del>-</del>									
		結		線	•	接	綅	ē									
外		表					7	₹									
		耐		震	;	措	置	Ī									
			+	高圧を	充電部		互 間	最小	の距	離						mm	
							地間	最小	の距	離						mm	
観			キュー	高圧用	月絶縁電	相	互 間	最小	の距	離						mm	
			ビクロ	高圧用線 非持	接続音	大	地間	最小	の距	離						mm	
<b>.</b>	設置方法	絶	Ιŧ	高圧3電線	で電部 & 非接線	と高圧 売 部 <sup>2</sup>	E用絶紅相 互間	最小	の距	離						mm	
試		縁	0	電線並支持を	端末充電 物まで	電部かの沿	いら絶終面距離	最小	の距	離						mm	
		祁	キュ				接近対象物		E 配 が	配	高圧がいい	配	<b>-</b>	電灯線、			
験		距		高圧屋内配線			し引き配線	い し 引 き	以	し引き配線	リカーの	ブ レ 己	線、2 管又は 類 す	はこれ	いらに		
機		離		がい	し引き	配線	(mm										
				ケー	ブル	記 線	(mm	)									
		構		造	•	性	育					<u> </u>					
機	接地		抵	į	亢	試	馬	È									
能	絶	緣	Ļ	耐	カ	試	馬	印加	電圧							V	
試		保	護糸	继電	器の1	作動	状 沥	ļ									
験	作動試験	遮	断	器(	ひ 作	動	状 涉	2									
<b>河</b> 火		警	報	器(	の作	動	状 涉	l l									

## 非常電源(高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備)

	試	験		項		目	種	別	•	容	量	等	の	内	容	結果
樾	作動試験	計器	用スィ	(ッチの	の作動	状況										
機 能 試 験		点検	スイ	ッチの	作動	状況										
験		電	圧	の	確	立										
	試験実施者が有	うしてい	る資格	₹:												
備																
I <del>TTI</del>																
+																
考																

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
  - 2 選択肢のある欄は、該当事項を 印で囲むこと。
  - 3 使用区分の()書きは、供用している設備名を記入すること。
  - 4 結果の欄には、良否を記入すること。
  - 5 印の試験は、「キュービクル式非常電源専用受電設備の基準」(昭和50年消防告示第7号)(改正平成10年消防庁告示第8号)に適合している旨の表示が付されているものにおいては、当該設備にかかる部分について省略することができる。
  - 6 操作盤が設けられているものにあっては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。